

令和6年度 第1回社会教育委員会議次第

日 時 令和6年6月24日（月）

午後3時～

場 所 第二庁舎15階農業委員会会議室

○委嘱状交付・教育長あいさつ

1 開 会

2 あいさつ

3 案 件

（1）令和5年度活動報告について

資料1

（2）令和6年度活動計画（案）について

資料2

（3）令和6年度フォーラムについて

資料3－1

資料3－2

（4）「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」について

資料4

（5）各種委員の選出について

ア 厚木市図書館協議会委員【継続】

イ 厚木市生涯学習推進会議委員【交代】

4 その他

各種会議等の報告について

資料5

5 閉 会

厚木市社会教育委員会議関係

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
6月22日(木) 10時00分	第1回会議	・社会教育委員会議の公開及び会議録について ・令和4年度活動報告について ・令和5年度活動計画(案)について ・社会教育委員会議における研究事項について ・地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて ・「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」の配布について ・令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会の報告について ・各種委員の選出について ・小委員会委員の選出について	第二庁舎 教育委員会 会議室	14人
10月2日(月) 10時00分	第1回 小委員会	・元気なあつぎっ子心がけ6か条の原稿確認について ・(仮称)令和5年度地域ぐるみ協育フォーラムについて	第二庁舎 16階 会議室B	6人
10月27日(金) 15時00分	第2回会議	・各種会議等の報告について ・「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」の原稿最終確認について ・(仮称)令和5年度地域ぐるみ協育フォーラムについて	第二庁舎 教育委員会 会議室	8人
11月28日(火) 10時00分	第2回 小委員会	・各種会議等の報告について ・令和5年度地域ぐるみ協育フォーラムについて	第二庁舎 教育委員会 会議室	4人
12月中 (小学校の 冬休み前)	配布	「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」 12月6日・7日の通送便にて市立小学校児童へ配布	市立小学校	-
12月12日(火) 15時00分	第3回会議	・各種会議等の報告について ・令和5年度地域ぐるみ協育フォーラムについて	第二庁舎 教育委員会 会議室	11人
1月20日(土)	フォーラム	令和5年度地域ぐるみ協育フォーラム	amyuスタジオ 及びミュージックルーム2	11人
2月13日(火) 15時00分	第4回会議	・令和5年度活動報告等について ・地域ぐるみ協育フォーラムについて ・令和6年度厚木市社会教育団体に対する補助金について	第二庁舎 農業委員会 会議室	11人

神奈川県社会教育委員連絡協議会関係等

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
5月8日(月)	第1回理事会	・令和4年度実施事業について ・令和5年度事業計画(案)について ・令和5年度全国社会教育委員連合表彰候補者の選考について ・令和5年度役員等について ・令和7年度関東甲信越静社会研究大会神奈川大会について	藤沢合同庁舎	0人
6月12日(月)	総会	・令和4年度事業報告並び会計報告 ・令和5年度事業計画案並びに予算案 ・令和5年度役員について ・新旧役員あいさつ 講演「社会教育委員の役割」	かながわ県民センター	2人
9月4日(月)	研修会	「社会教育委員と社会教育主事の連携について」 一般社団法人教育デザイン研究所 代表理事 日本大学文理学部人文科学研究所 研究員 吉田 和夫 氏	総合教育センター	3人
10月6日(金)	社会教育委員連絡会議	・令和5年度各市町村の活動報告及び情報交換 ・講演「子どもの体験活動にどう関わるか」 ・グループ協議「子どもの体験活動をより充実させるために」	厚木商工会議所	5人
10月16日(月)	第2回理事会	・令和5年度実施事業について ・令和5年度地区研究会について ・令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について	総合教育センター	1人
11月21日(火) 11月22日(水)	関ブロ社会教育研究大会	第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会(令和5年度栃木県社会教育委員協議会研修会)	栃木県宇都宮市	4人
11月29日(水)	人権啓発研修	知ることからはじめる人権啓発研修講座	海老名市文化会館	0人
1月27日(土)	地区研究会	神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会	開成町立開成南小学校	3人
2月15日(木)	地区研究会	神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会	寒川町民センターホール	3人
3月22日(金)	第3回理事会	・令和5年度実施事業について(実施事業報告・決算見込み) ・令和6年度事業計画(案)について(事業実施計画(案)・収支予算(案))	総合教育センター	1人

厚木市社会教育委員会関係

期 日	会議等の名称	内 容	場 所
6月24日(月) 15時00分	第1回会議	・ 委員委嘱 ・ 令和5年度活動報告について ・ 令和6年度活動計画（案）について ・ 令和6年度フォーラムについて ・ 「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」について ・ 各種委員の選出について ・ 各種会議の報告について	第二庁舎15階 農業委員会 会議室
10月25日(金) 15時00分	第2回会議	・ 各種会議等の報告について ・ 「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」の原稿最終確認について ・ 令和6年度フォーラムについて	第二庁舎4階 教育委員会 会議室
11月下旬 (冬休み前)	配布	「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」 逡送便にて市立小学校児童へ配布	市立小学校
12月17日 (火) 15時00分	第3回会議	・ 各種会議等の報告について ・ 令和6年度フォーラムについて(最終確認)	第二庁舎4階 教育委員会 会議室
1月18日(土) PM	フォーラム	令和6年度フォーラム	シティプラザ ホール250
2月17日(月) 15時00分	第4回会議	・ 令和6年度活動報告等について ・ 令和6年度フォーラムの振り返りについて ・ 令和7年度厚木市社会教育団体に対する補助金について	第二庁舎4階 教育委員会 会議室

*フォーラムの準備等、全体会を効率的に進めるため、小委員会を開催しながら進めます。

地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム実績一覧

資料 3-1

年度	開催日時	開催場所	内 容		
27	H28年3月12日(土) 13時30分 ～16時50分	アミューあつぎ 市民交流プラ ザ7階 ア ミュースタジオ	基調講演 「地域で子どもを育てる～地域ぐるみ で家庭教育支援～」 講師 九州女子大学人間科学部教授 大島まな氏	H26・27モデル地区活動実践報告 森の里地区・睦合南地区	シンポジウム コーディネーター、コメンテーター、シンポ ジスト4人 地域による家庭教育支援のあり方につ いて、参加者を交えて協議
28	H29年1月21日(土) 13時30分～17時	アミューあつぎ 市民交流プラ ザ7階 ミュー ジックルーム1	基調講演 「地域で家庭教育を支援するため には」 講師 東京学芸大学 副学長 松田 恵示氏	グループディスカッション コーディネーター 厚木市社会教育委員会 議 議長 青木信二氏 ナビゲーター 基調講演講師 松田恵示氏 地域で出来る家庭教育支援のあり方・具 体的方法について	
29	H30年3月10日(土) 13時30分 ～16時50分	厚木シティプラ ザ6階 サイエ ンスホール250	基調講演 「地域の大人はみんな親！」 講師 大谷裕美子氏	H28・29モデル地区活動報告 厚木南地区、依知北地区	ワークショップ テーマ「子どもたちのために何ができる か」
30	H31年3月16日(土) 13時30分～17時	厚木市役所第 二庁舎 16階 会議室AB	各地区活動発表 小鮎地区「小鮎川リバーフェスタ」「小 鮎いどばた会」 南毛利地区「のぼり旗の作成ともち 米づくり」 相川地区「みんなでラジオ体操」 南毛利南地区「こどもえいがかい」	基調講演 「公民館と地域との協働」 講師 福島大学うつくしまふくしま未来支援 センター 天野和彦氏	情報交換
31 (R1)	R2年2月19日(水) 13時～16時30分 ※地区研究会と 合同開催	厚木市文化会 館 小ホール	アトラクション「人形浄瑠璃」 人権講話「厚木市のセーフコミュニティ の取組～子どもの人権を守る～」	事例発表① 「地域ぐるみ家庭教育支援事業について」 緑ヶ丘公民館「3世代ふれあい交流会」 睦合西公民館「こどもスペース」	事例発表② 「コミュニティ・スクールと地域協働」 森の里公民館館長 青木信二氏 厚木市社会教育委員 佐々木徹氏
2	【中止】 R3年3月13日(土) 14時～16時	厚木シティプラ ザ6階 サイエ ンスホール250	各地区活動発表 厚木北地区、荻野地区	講話 「(仮)地域ぐるみ家庭教育支援事業から地 域学校協働活動へ」 講師 中川洋太社会教育指導員	パネルディスカッション 「(仮)地域の協働活動の身近な実践例」 コーディネーター 社会教育委員会 議 長 杉山芳子氏 パネリスト 前場氏(玉川せんみ風)、谷 島氏(愛川町生涯学習課)、社会教育委 員 遠藤氏

地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム実績一覧

資料 3-1

年度	開催日時	開催場所	内 容		
3	R4年3月19日(土) 14時～16時30分 ※オンライン開催	厚木シティプラザ6階 サイエンスホール250 ※収録場所	講演 「地区公民館の挑戦 地域社会における緩やかなつながりづくり～地域ぐるみ家庭教育支援事業と地域学校協働活動～」 講師 森の里公民館 地区館長 青木信二 氏	パネルディスカッション 「地域学校協働活動の身近な実践例」 コーディネーター 社会教育委員 遠藤氏 パネリスト 森の里小地域学校協働活動推進員 飯田氏、玉川地区せんみ風保存会 前場氏、愛川町中原中地域学校協働活動推進員 高橋氏、愛川町生涯学習課 谷島氏	
4	R5年1月22日(日) 13時30分～16時	アミューあつぎ市民交流プラザ7階 アミュースタジオ	各地区活動発表 依知南地区「依知南地区の地域学校協働活動(推進員の役割について)」 荻野地区「子ども金融講座(家庭教育支援の視点で)」	講話とワークショップ 『地域ぐるみ家庭教育支援』と『地域学校協働活動』の視点で事業を考える コーディネーター 社会教育委員会 副議長 佐々木氏	
5	R6年1月20日(土) 13時30分～17時	アミューあつぎ市民交流プラザ7階 アミュースタジオほか	各地区活動発表 睦合北地区「スポーツフェスティバル(地域ぐるみ家庭教育支援の視点で)」 厚木北地区「サマースイミング教室(地域学校協働活動の視点で)」	基調講演 「つなごう！つながろう！地域と学校～学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進～」 講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人氏	グループワーク 「ご自分の地域や学校で取り組みそうな地域学校協働活動について」

地区活動発表
※R5年度で全館
発表終了

H27	森の里、睦合南
H29	厚木南、依知北
H30	小鮎、南毛利、相川、南毛利南(愛甲)
H31(R1)	緑ヶ丘、睦合西
R2【中止】	厚木北、荻野
R3	玉川
R4	荻野、依知南
R5	睦合北、厚木北

令和6年度 地域ぐるみ「協育」フォーラム開催要領（案）

1 目 的

家庭・地域・学校のつながりをより一層深め、それぞれが相互に補完・融合しながら、協働して地域子どもたちを育むため、地域の特性を活かしながら、地域学校協働活動や地域ぐるみでの家庭教育支援の実践に役立つ方策について、共通認識を深めることを目的として開催する。

＊協育(きょういく)…「協働して育む」という言葉を短くした造語。

2 主 催 厚木市教育委員会・厚木市社会教育委員会議

3 開催日 令和7年1月18日（土） 午後1時30分～4時30分（午後1時受付開始） （リハーサル 午前11時30分～午後0時30分）

4 会 場 厚木シティプラザ 6階 サイエンスホール 250 （定員250人、机・椅子使用時は132人程度）

5 対象者 社会教育委員、公民館関係者、学校関係者、地域学校協働活動推進員、 教育委員会関係者、社会教育関係団体

6 内 容

（1）開会 【10分】

主催者挨拶 厚木市教育委員会 教育長 佐後 佳親
厚木市社会教育委員会議 議長 飛鳥井 光治

（2）パネルディスカッション【75分】

テーマ：未定
パネリスト：未定

休憩・準備【15分】

（3）グループワーク【75分】

テーマ：未定

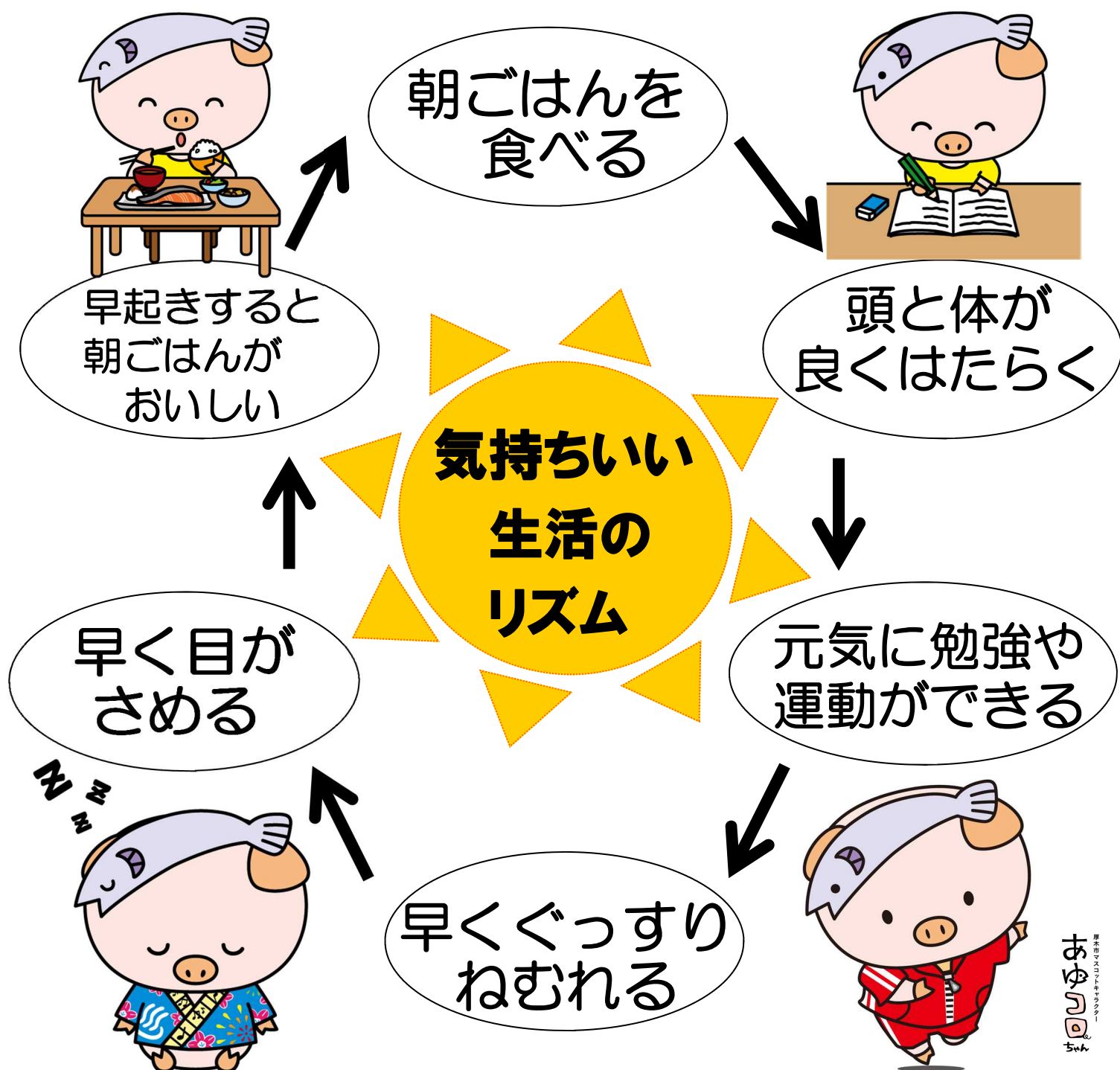
（4）閉会 【5分】 厚木市社会教育委員会議 副議長 遠藤進

令和 5 年度版です

あつぎっ子 早ね、早おき、朝ごはん

～みんないきいき 気力、体力、学力アップ～

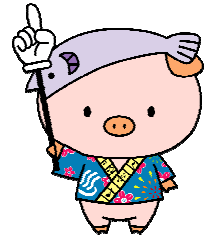
朝食は、脳や体の活動を活発にし、勉強に集中できるエネルギーを与えてくれます。
毎日朝食をとっている子どもは、学習意欲や体力が高いといわれています。
子どもに望ましい生活習慣を身に付けさせ、生活リズムの向上を図りましょう。



上手に子育て 6つのヒント

1 「早寝、早起き、朝ごはん」で気力、体力、学力アップ

朝食は体温を上昇させ、脳や体の活動を活発にし、勉強に集中できるエネルギーを与えてくれます。まず最初に「早寝」から始めるのがコツです。



2 家族で過ごす時間を増やしましょう

子どもにとって、家族のぬくもりは一番の栄養です。一緒に食事をしたり、早く帰る日を作ったりして、子どもの顔を見て過ごす時間を作りましょう。

3 子どもの話は、しっかり聴いてあげましょう

話を聴ける子は、話を聴いてもらえる子です。「だけど」「でも」でさえぎらず、まずは子どもの話を聴いてあげましょう。

4 あいさつ・お礼はあなたから

まずは「おはよう」から始めましょう。子どもより先にあいさつしてみてもいいです。そして「ありがとう」で感謝の気持ちを伝えましょう。それが思いやりにつながります。

5 お手伝いをさせましょう

時間と手間がかかるかもしれませんが、子どもにお手伝いをさせましょう。子どもの自立心が育ちます。失敗しても子どもの行動をほめてあげてください。

6 受け止め、見守りましょう

- ・「どうしたの?」「だいじょうぶ?」と声をかけたら、子どもが話し出すのを待ちましょう。
- ・「そうだね」「なるほど」と、うなずきましょう。
- ・「どうすればいいのかな?」と一緒に考えましょう。
- ・「がんばったね」「できたね」とほめてあげましょう。



厚木市マスコットキャラクター

あゆみ回ちゃん

6つの心がけ できたかな？

保護者の方へ

お子さんと一緒に、基本的な生活習慣が自然に身に付くように、楽しみながら活用してください。このページは、くり返しコピーをして使用してください。

できたときは、好きなシールをはってね。
ぜんぶできたら、きみもげんきなあつぎっ子！

「はやね はやおき あさごはん」 ができたかな 					
あいさつができたかな 					
たくさんおはながで きたかな 					
ほんをよんだかな 					
あんぜんにあるけた かな 					
つけたものをかたづ けたかな 					

ぜんぶできたら、おうちのひとからひとことかいてもらおう 😊



令和5年度版です

小学校低学年 家庭保存用

げんき 元気なあつぎっ子 6つの心がけ

このパンフレットは、元気なあつぎっ子の育成に心掛けて
ほしい生活の基本をまとめたものです。

お子さまの成長にあわせて、ご家庭で活用してください。



厚木市マスコットキャラクター

あゆむ回

アンケートにご協力
をお願いします！
【回答期限 1月31日】



このパンフレットは、厚木市社会教育委員会議からの提案に基づいて、厚木市教育委員会が作成しました。

保護者の方へ

家庭教育の向上のための一助として、成長期の子どもの基本的な生活習慣を見直し、子どもの学習意欲や体力、気力の改善につなげるため、このパンフレットを作成しました。

ご家庭でお子さんと一緒に話し合いながら、基本的な生活習慣が身に付いているかの確認ができるようになっております。

裏面チェック表とともに、お子さんの年齢や各家庭の事情に合わせて、お子さんに内容を説明しながら一緒に話し合い、ぜひご活用ください。

せいかつ

《1》よい生活のリズムをつくりましょう

- ① 「早ね 早おき 朝ごはん」を心がけましょう。
はや はや あさ こころ
- ② テレビやゲームは時間を決めて楽しみましょう。
じかん き たの
- ③ スマートフォンやタブレットは、
家族で決めたルールを守って、安全に正しく使いましょう。
かぞく き まも あんぜん ただ つか
- ④ お家の人のお手伝いをしましょう。
うち ひと てつだ



《2》あいさつをしましょう

- ① 「おはよう」「こんにちは」と元気よくあいさつをしましょう。
げんき
- ② 「行きます」「ただいま」を言いましょう。
い い
- ③ 近所の人にもあいさつをしましょう。
きんじょ ひと



はなし

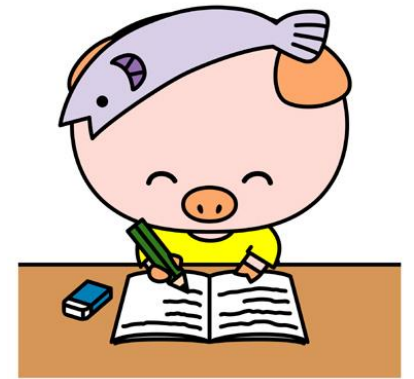
《3》たくさん話をしましょう

- ① 今日あったことを、お家の人にすすんで話しましょう。
きょう うち ひと はな
- ② お友だちなど相手の話も聞きましょう。
とも あいて はなし き
- ③ 正しい言葉づかいで話をしましょう。ふわふわ言葉を遣いましょう。
ただ ことば はなし ことば つか
(ふわふわ言葉の例) ありがとう。ごめんね。など
- ④ 「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを伝えましょう。
き も つた



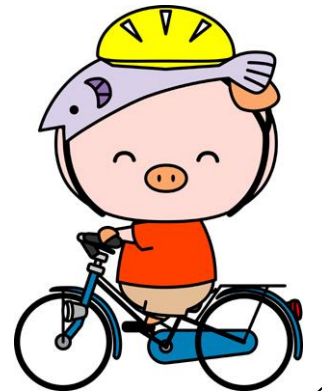
《4》学ぶ習慣を身につけましょう

- ① 「10分×学年」をめやすに家庭学習をしましょう。
ぶん がくねん かていがくしゅう
1年生は10分 2年生は20分 学習しよう！
ねんせい ぶん ねんせい ぶん がくしゅう
- ② たくさん本を読みましょう。
ほん よ
- ③ 身近な生き物や草花などに関心を持ちましょう。
みぢか い もの くさばな かんしん も
- ④ 地域の行事に参加し、学ぶ機会を増やしましょう。
ちいき ぎょうじ さんか まな きかい ぶ



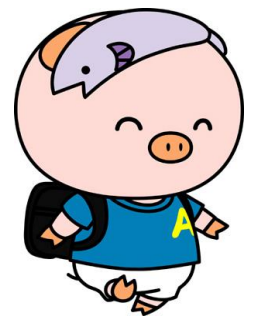
《5》身の安全は自分で守りましょう

- ① 交通ルールを守りましょう。
こうつう まも
- ② 防犯ブザーを身につけましょう。
ぼうはん み
- ③ 自転車はヘルメットをかぶり、安全に正しく乗りましょう。
じてんしゃ あんぜん ただ の



《6》身のまわりのことは自分でしましょう

- ① 学校へ行く準備は前の日にしましょう。
がっこう い じゅんび まえ ひ
- ② 自分で使った物は自分でかたづけましょう。
じぶん つか もの じぶん
- ③ 整理整頓をしましょう。
せいりせい



毎月第3水曜日は「あつぎ家庭の日」と「あつぎ家庭読書の日」です！



平成24年12月25日に厚木市子ども育成条例が施行され、その中で家族のきずなを大切にするため、「あつぎ家庭の日」が制定されました。また、厚木市子ども読書活動推進計画では同日を「あつぎ家庭読書の日」と定めています。

いつもより少し多く、家族で読み聞かせや読書を楽しむ、一緒に食事を楽しみながらお子さんの顔を見て楽しいお話をするなど、お子さんとのふれあいを深め、充実した時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか？

心がけ6か条 できたかな？

じょう



★できたときは好きなしるしをつけてね★

↓お家の人とチャレンジするものを選んでね

	月	火	水	木	金	土	日
①「早ね 早おき 朝ごはん」ができたかな							
② テレビやゲームを楽しむ時間が守れたかな							
③ スマホなどは家族で決めたルールを守れたかな							
④ お手伝いができたかな							
① 家族や地域の人にあいさつできたかな							
① 今日あったことをお家の人に話したかな							
② お友だちなど相手の話をしっかり聞いたかな							
③ 正しい言葉づかいができたかな							
① お家で勉強ができたかな							
② 本を読んだかな							
① 交通ルールを守れたかな							
② 外に出るとき、防犯ブザーを持ったかな							
③ 自転車に乗ったとき、安全に正しく乗れたかな							
① 学校へ行く準備は前の日にできたかな							
② 自分が使った物は自分でかたづけたかな							
③ 整理整頓ができたかな							

お家の人からひとこと



1週間チャレンジして、お家の人に見てもらってね。このページはコピーしてくり返し使ってね。

令和5年度版です

小学校中・高学年 家庭保存用

元気なあつぎっ子 心がけ6か条

このパンフレットは、元気なあつぎっ子の育成に心がけて
ほしい生活の基本をまとめたものです。

お子さまの成長にあわせて、ご家庭で活用してください。



厚木市マスコットキャラクター

あゆむ回

アンケートにご協力をお願いします！
【回答期限 1月31日】



このパンフレットは、厚木市社会教育委員会議からの提案に基づいて、厚木市教育委員会が作成しました。

保護者の方へ

家庭教育の向上のための一助として、成長期の子どもの基本的な生活習慣を見直し、子どもの学習意欲や体力、気力の改善につなげるため、このパンフレットを作成しました。

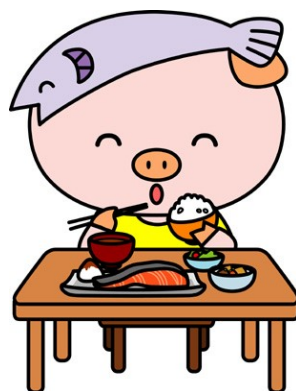
ご家庭でお子さんと一緒に話し合いながら、基本的な生活習慣が身に付いているかの確認ができるようになっております。

裏面チェック表とともに、お子さんの年齢や各ご家庭の事情に合わせて、お子さんと一緒に話し合いながら、ぜひご活用ください。

だい じょう せい かつ

第1条 よい生活のリズムをつくりましょう

- ① 「早ね 早おき 朝ごはん」を心がけましょう。
はや はや あさ こころ
- ② テレビやゲームは時間を決めて楽しみましょう。
じかん き たの
- ③ スマートフォンやタブレットは、
かぞく き あんぜん ただ つか
家族で決めたルールを守って、安全に正しく使いましょう。
- ④ お家の人のお手伝いをしましょう。
うち てつだ



だい じょう

第2条 あいさつをしましょう

- ① 「おはよう」「こんにちは」と元気よくあいさつをしましょう。
げんき
- ② 「行ってきます」「ただいま」を言いましょう。
い い
- ③ 近所の人にもあいさつをしましょう。
きんじょ



だい じょう はなし

第3条 たくさん話をしましょう

- ① 今日あったことを、お家の人にすすんで話しましょう。
きょう うち はな
- ② お友だちなど相手の話も聞きましょう。
とも あいて はなし きき
- ③ 正しい言葉づかいで話をしましょう。ふわふわ言葉を遣いましょう。
ただ ことば はなし ことば つか
- ④ 「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを伝えましょう。
き も つた



だい じょう しゅう かん み

第4条 学ぶ習慣を身につけましょう

- ① 「10分×学年」をめやすに家庭学習をしましょう。
ぶん がくねん かていがくしゅう
- ② たくさん本を読みましょう。
ほん よ
- ③ 身近な生き物や草花などに関心を持ちましょう。
みぢか もの くさばな かんしん も
- ④ 地域の行事に参加し、学ぶ機会を増やしましょう。
ちいき ぎょうじ さんか まな きかい ふ



だい じょう み あん ぜん じ ぶ ん まも

第5条 身の安全は自分で守りましょう

- ① 交通ルールを守りましょう。
こうつう まも
- ② 防犯ブザーを身につけましょう。
ぼうはん み
- ③ 自転車はヘルメットをかぶり、安全に正しく乗りましょう。
じてんしゃ あんぜん の



だい じょう み

第6条 身のまわりのことは自分でしましょう

- ① 学校へ行く準備は前の日にしましょう。
がっこう い じゅんび まえ ひ
- ② 自分で使った物は自分でかたづけましょう。
じぶん つか もの じぶん
- ③ 整理整とんをしましょう。
せいりせい



毎月第3水曜日は「あつぎ家庭の日」と「あつぎ家庭読書の日」です！



平成24年12月25日に厚木市子ども育成条例が施行され、その中で家族のきずなを大切にするため、「あつぎ家庭の日」が制定されました。また、厚木市子ども読書活動推進計画では同日を「あつぎ家庭読書の日」と定めています。

いつもより少し多く、家族で読み聞かせや読書を楽しむ、一緒に食事を楽しみながらお子さんの顔を見て楽しいお話をするなど、お子さんとのふれあいを深め、充実した時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか？

令和6年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会資料（抜粋）

令和6年6月10日（月）開催

令和6年度事業計画

下線については、未確定

【県社教連関係】

1 幹事会

- ①令和6年5月13日（月）10:30～12:00 オンライン（Zoom形式）開催
- ②令和6年10月7日（月）10:30～12:00 オンライン（Zoom形式）開催
- *生涯学習課長、社会教育担当の教育事務所長、政令指定都市・中核市並びに人口40万人以上の市から各1名（課長）、各教育事務所管内の市町村から1名（課長）で構成。

2 理事会

- ①令和6年5月13日（月）13:30～16:30 総合教育センター 211研修室
- ②令和6年10月7日（月）13:30～16:30 総合教育センター 307研修室
- ③令和7年3月18日（火）9:30～12:00 総合教育センター 301研修室
- *各市町村から1名（社教委員）。ただし、人口40万人以上の市町村からは各2名選出。

3 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会

令和7年3月18日（火）13:30～16:00 総合教育センター 301研修室 他

4 総会

令和6年6月10日（月）13:30～16:00 総合教育センター

*担当理事は、愛川町（議長）、寒川町（副議長）、横浜市、南足柄市、小田原市

5 研修会

令和6年9月2日（月）13:00～16:30 総合教育センター 講堂

6 事業検討・調査研究委員会

①令和6年11月11日（月）10:00～12:00 かながわ県民センター 601会議室

②令和7年2月17日（月）10:00～12:00 かながわ県民センター（予約確定）

*会長、副会長及び幹事（海老名市・大磯町の生涯学習主管課長）で構成

7 地区研究会

令和6年11月2日（土）AM 海老名市文化会館

令和7年2月4日（火）PM 大磯プリンスホテル

8 会計監査（令和5年度対象）

令和6年4月11日（木）10:00～12:00 神奈川県庁東庁舎9階 教育委員室

*令和5年度監事は、茅ヶ崎市、伊勢原市の生涯学習主管課長で構成。

*令和6年度監事は、座間市、大井町の生涯学習主管課長で構成。令和7年度4月に実施。

9 その他

神奈川の社会教育委員活動（県社教連会誌）の編集・発行 令和6年7月予定
 神奈川県ホームページに掲載

【令和7年度関ブロ神奈川大会関係】

1 実行委員会

令和7年3月18日（火）13:30～16:00 総合教育センター 301研修室 他

2 連絡調整会議

令和6年9月中・令和7年2月中 会場未定

3 各部会

日時・場所 部会ごとに決定

総務部会	研究部会	運営部会	広報部会
7月8日（月） 14:00～ 神奈川県庁東庁舎	7月1日（月） 14:00～ 総合教育センター	6月27日（木） 15:00～ 小田原合同庁舎	7月11日（木） 14:00～ 大和シリウス

【全国・関ブロ関係】

1 第66回全国社会教育研究大会 茨城大会

令和6年10月23日（水）～25日（金） 茨城県水戸市

【全体会会場】水戸市民会館

【分科会会場】水戸市民会館

2 全国社会教育委員連合総会

①令和6年5月31日（金）14:30～ 日本弘道会ビル

②令和6年10月24日（木）10:00～11:00 水戸市民会館

③令和7年2月または3月 日本弘道会ビル

3 第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会

（全国大会と兼ねる）

4 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会理事会

①令和6年6月7日（金）14:00～16:00 日本弘道会ビル

②令和7年3月上旬～中旬 14:00～16:00 日本弘道会ビル

令和6年度研修会について

令和6年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会について（案）

1 日 程：令和6年9月2日(月)

(参考：令和5年度開催参加者数107名)

2 時 間：13時00分～16時30分（受付：12時30分～）

3 会 場：神奈川県立総合教育センター 講堂

4 内 容

(1) 講演 (60分)

テーマ「地域の教育力向上のためにそれぞれができること」(仮)

(2) シンポジウム (90分)

内容：講演テーマに沿った内容

5 講演講師・シンポジウム登壇候補者

○講師 青山学院大学 コミュニティ人間科学部コミュニティ人間科学科 教授
神奈川県社会教育連絡協議会 県理事 伊藤 真木子 氏

○ファシリテーター 青山学院大学 伊藤 真木子教授

○県社教連 理事 or 市町村社会教育委員

○教育事務所 or 市町村社会教育主事

○県社教連事務局長

○その他 ()

6 時程 (案)

13:30～13:40 開会・あいさつ

13:40～14:40 講演 (60分)

14:40～14:50 休憩

14:50～16:20 シンポジウム

(90分)

16:20～16:30 総括 (講師・会長)

16:30 閉会

令和7年度 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 開催概要（案）

- 1 大会スローガン 未定
- 2 研究主題 未定
- 3 趣 旨 未定
- 4 開催日 令和7年11月20日（木）・21日（金）
- 5 主 催/共 催
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、一般社団法人全国社会教育委員連合、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
- 6 参加予定人数
700名 ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
・ 同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方
- 7 開催地（横浜市）
【1日目（全体会）】 関内ホール（大ホール）
・ 1,038 収容 ・ 関内駅徒歩6分
【2日目（分科会）】 候補地
○ 関内ホール 小ホール
・ 264 人収容 ・ 関内駅徒歩6分
○ 横浜情報文化センター 情文ホール
・ 239 人収容 ・ 日本大通り徒歩1分
○ 横浜市開港記念館（中区公会堂）
・ 418 人収容 ・ 日本大通り駅徒歩1分
○ 神奈川近代文学館
・ 220 人収容 ・ 元町・中華街駅徒歩10分
○ 神奈川県立かながわ労働プラザ ホール全室
・ 294 人収容 ・ 関内駅徒歩8分
○ 横浜市技能文化会館 ホール1
・ 200 人収容 ・ 関内駅徒歩5分
○ かながわ県民センター
・ 200 人収容 ・ 横浜駅徒歩10分
○ 神奈川公会堂 講堂（ホール）
・ 408 人収容 ・ 東神奈川駅徒歩5分
○ 横浜美術館 レクチャーホール
・ 240 人収容 ・ みなとみらい駅徒歩5分

8 参加費 4,000 円 (参加資料代等)

9 日程 (予定)

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
第1日目 11月20日 (木)				受付	ア ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	休 憩	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ
第2日目 11月21日 (金)	受 付	分 科 会 (5)		開 会 ・ 解 散	*受付開始時間 第1日目 11:40～ 第2日目 8:50～						

10 大会内容

○第1日目 (全体会)

- ・アトラクション
- ・開会行事
- ・記念講演
- ・シンポジウム
- ・閉会行事

○第2日目 (分科会)

- ・分科会テーマ (案)

①地域の教育力の活用と育成

→積み重ねてきた地域の教育力の活用をとおして次代へつなぐための社会教育委員の役割について考える。

②環境問題/持続可能な社会

→予測できない未来に向けて、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。

③家庭教育支援

→子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような家庭教育を支援する取組について考える。

④共生社会の実現

→全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現にむけ社会教育の役割について考える。

⑤地域学校協働活動

→地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化、積極的な世代間交流に向けた取組について考える。

※各分科会2事例 (神奈川県以外から1事例+神奈川県から1事例)

関東甲信越社会教育研究大会神奈川大会

テーマ検討

1 スローガン

(1) 理事から挙げられたキーワード

つながる 生きる 神奈川・横浜からつながり未来へ 多様性、共生、地域づくり 未来の社会に社会教育ができること (地域を) 創る (人を) 育む 未来につなげる 地域のことを 他人事から自分事に 人と人とのつながり、輪 未来につながる社会教育 平和な世界	地域社会の変容 子ども達の育成 人とのつながり 未来へウェルビーイング グローバル 地域力 つながり 未来に続く、人の輪、学びの輪で地域活性化 地球 平和 友好交流 わかちあい 心育てる つながる 地域 みじかなことから始めよう！！ 人と人 つなごう やさしさ 思いやり
---	--

(2) 事務局案

【1】過去、今、そして未来

～神奈川・横浜から広げる つなげる 学び(or 社会教育)の輪～

神奈川県・横浜が歴史的に重要な地であること、大都市部としてこれからも発展をしていく地であることから「過去、今、未来」を取り入れました。

【2】多文化共生 (or ウェルビーイング or 持続可能) な社会をめざして

～身近なことから始めよう！人と人 つなごう やさしさ 思いやり～

神奈川県が外国籍など多様な方が生活、往来する地であることから「多文化共生」を頭にもってきました。

【3】社会教育で創る 育む つなげる未来

「創る」は0から1へ 「育む」は1から10へ 「つなげる未来」は10を持続していく という段階的につなげてみました。

【4】今 改めて 社会教育のちからを 未来へ

～開港の地 神奈川・横浜から広げる つなげる ひと 地域～

先人から学び、その教えを未来へつなげていく。神奈川・横浜は、1859年の開港後、海外の窓口として、技術、文化、人が集まるようになり、港を中心として、発展をつづけた。その発展は現在もなおみなとみらい地区を中心に続いている。一方で、横浜三塔に代表される歴史的建造物もその存在感を残している。「故きを温(たず)ねて新しきを知る」と言われるが、こうした開港の地、神奈川・横浜の人々の思い、文化、景観などから習い、持続的に発展し続けるために、この大会を通じて、ひと、地域をつなげていこうという思いから、このスローガンを考えました。

2 研究主題

(1) 理事が挙げられたキーワード

つながる 共生 これからの社会教育委員のすがた ・なすべきものは何か ・次へのバトンタッチをどのように ・一人一人の声でかわる地域・社会 多様性、共生、地域づくり、教育力とは 地域の教育力 (人を) 育む 未来につなげる 地域のことを 他人事から自分事に 地域を活かす 地域とのつながり 魅力的な地域 一人一人が活きる生涯 学習	地域社会の変容 子ども達の育成 共生社会 ウェルビーイング グローバル 地方自治 地域 協働 社会教育委員 全世代の人とつながる社会教育を目指して 分科会①をまとめたテーマ
--	---

(2) 事務局案

- 【1】すべてのひとが学び続けることができる社会教育の可能性を考える
- 【2】共生社会の実現に向けた社会教育の役割について考える
- 【3】変化の波にも負けない地域の教育力の向上を考える
- 【4】魅力的な地域にするために～社会教育委員のこれからの役割～
- 【5】持続的な地域の発展のために
～これからの社会教育委員に求められる役割～

3 分科会 (神奈川県以外から1事例+神奈川県内から1事例)

	分科会名	研究テーマ	主な研究・討議の視点(例)
1	地域の教育力 養成と活用	積み重ねてきた地域の教育力の活用をととして次代へつなぐための社会教育委員の役割について考える。	・社会教育施設の役割 ・住民の学習成果の還元と参画 ・地域教育資源の発掘と養成 ・ボランティア活動の意義と活性化 ・地域のネットワークの構築 ・防災を視点としたまちづくり ・地域コミュニティの活性化
2	環境問題/持続 可能な社会	予測できない未来に向けて、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	・世代間交流の促進 ・自然体験活動の充実と指導員養成 ・公民館・図書館・博物館の役割 ・社会教育におけるSDGsの取組 ・エシカル消費を意識した地域活動
3	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような家庭教育を支援する取組について考える。	・乳幼児期からの切れ目のない支援 ・親の社会的なつながり ・地域における子育て支援体制 ・食育と子どもの生活習慣 ・家庭における読書活動 ・家庭教育支援アドバイザーの養成 ・ヤングケアラー対策
4	共生社会の実 現	全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現にむけ社会教育の役割について考える。	・地域住民のウェルビーイングの促進 ・インクルーシブなまちづくり ・社会性や自立心を育み支援活動 ・子どもたちの生きる力の育成

5	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をと おして地域の活性化、積極的 な世代間交流に向けた取組に ついて考える。	・地域コミュニティの活性化 ・地域学校協働活動推進員の養成と活用 ・子どもの居場所づくり ・子どもの体験活動 ・学校教育等との連携・協働 ・地域教育資源の活用 ・社会教育施設の役割 ・社会教育士との連携・協働
---	----------	---	---

【参考】分科会テーマ集計結果

No.	テーマ案	票数
1	地域の教育力	11
2	環境問題/持続可能な社会	11
3	家庭教育支援	10
4	共生社会の実現/共生社会	10
5	地域学校協働活動	9
6	生涯学習と社会教育	7
7	企業・NPO等との連携	7
8	まちづくり	6
9	ウェルビーイングの実現	5
10	青少年教育	5
11	人権問題	5
12	社会教育施設の機能強化	5
13	地域の伝統文化	4
14	社会教育士	4
15	福祉、防災、農山漁村振興	4

*第2回理事会におけるアンケートの結果を集計したもの